○をとするののにするの（）

28３2511

（）

１　このは、をとするののにする（2565。「」という。）10１のにづき、７にするにし、（「」という。）がにするためになをめるものとする。

（）

２　このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。

(１)   　、、（びをむ。）そのののの（にするをむ。）をいう。

(２)　　があるであって、びによりにはになをけるにあるものをいう。

(３)　　があるにとってはをむでとなるようなにおける、、、そののものをいう。

（ないの）

３　は、をうにたり、をとしてでないとないをすることにより、のをしてはならない。

（の）

４　は、をうにたり、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、の、びのにじて、ののについてかつな（「」という。）のをしなければならない。

（のをとするのをするための）

５　のにある（「」という。）は、２にするにし、をとするのをするため、にげるをじなければならない。

(１)　のをじたにより、そのするのをし、びをとするのにするをめさせること。

(２)　びそのそのの（「」という。）からないはのにする、のがあったは、にをすること。

(３)　のがされたにあっては、するにして、のをにうようすること。

２　は、をとするにするがじたには、かつにしなければならない。

（）

６　が、にしないをし、はながないにもかかわらずのをしなかったは、そのによっては、のにし、はをったにし、にされることがある。

（の）

７　びに、をとするにするからのににするためのをく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファクシミリ、メールにえ、がとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたについては、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のについては、にじ、をるようめるものとする。

（・）

８　は、をとするののをるため、にし、、をする、からをくをける、な・をうものとする。

２　は、のにげるにし、にめるについて、をするものとする。

(１)　たにとなった　をとするのにするな

(２)　たにとなった　をとするのにしてめられる

３　は、にし、のをさせるとともに、、にもしつつ、へにするためになマニュアルのにより、のをるものとする。

このは、６○○からする。

○をとするののにするののについて（）

28３25（）24

をとするののにする（2565。「」という。）のにい、をとするののにするの（2811。「」という。）がされ、28４１からされることとなった。

こののにおいては、のにの、にし、そのをられたい。

１

このにおけるのは、にめるところによる。

２　ない（３）

１　ないのなえ

(１)　は、にして、ななく、をとして、・サービスびのをし、はにたって、をすること、でないにしてはさないをけることにより、のをすることをしている。

なお、、そののの、のいのをするためののをとしてわれるないも、をとするないにする。

(２)　ののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、をでないとべてするい（いわゆる）、にされたにするのによるでないとのなるいびをするためになで、プライバシーにしつつにのをすることは、ないにはたらない。

(３)　ないとは、ななく、を、となるはについて、にするがじでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

１にするなののは、のとおりとする。

(１)　なにするのは、にして、をとして、・サービスびのをするのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないといえるである。

(２)　 においては、なにするかかについて、なをせずになをするしてのをなうことなく、のごとに、びの（えば、の、の、の）びのはの、びののにみ、びにじてかつにすることがである。

(３)　（「」という。）は、ながあるとしたには、にそのをにするものとし、をるようめることがましい。その、びのが、いにのをしながらをることがめられる。

３　ないの

ながなく、ないにするとえられるびながあるため、ないにしないとえられるは、のとおりとする。

なお、されているは、あくまでもであり、これらのだけにられるものではないこと、なにするかかについては、のごとにするがあることびながありないにしないであっても、のをめられるには、するがあることにするものとする。

(１)　 ながなく、ないにするとえられる

ア　があることをとして、にをする。

イ　があることをとして、にのをしにする。

ウ　があることをとして、にの、の、パンフレットのをみ、はにするなをく。

エ　があることをとして、にへのをむ。

オ　はの、にではないにもかかわらず、をに、のにのをめるのをし、はにがないにもかかわらず、のをむ。

カ　のは、サービスのにおけるはのについてすることなく、としたのをにをする。

キ　のにがないにもかかわらず、でないとはなるでのをう。

ク　があることをとして、にい、のをげる。

(２)　ながあるため、ないにしないとえられる

ア　をうにおいて、になのなのがまれるのあるにし、とはのをする。（のの）

イ　のがきのをするに、をく、をするためのをう。（ののの）

ウ　をうため、にしたがしようとしたに、なで、プライバシーにしつつ、にしの、ののをする。（ののの）

３　（４）

１　のなえ

(１)　のにする（26１。「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。また、は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、からにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、のをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がけるは、のみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、のをすることとならないよう、がのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

(２)　のにたっては、のにした、がにかれているをまえ、ののためのびについて、のをしつつ、２の(１)のアからウまでにげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるがある。また、のは、の、のにじてわりるものである。

ア　は、のはの、びにらし、とされるでのにするものにられること。

イ　は、でないとのにおいてののをけるためのものであること。

ウ　は、はの、びのなにはばないこと。

エ　の、、へのがであり、にのあるにしては、にえてであることもまえたがめられること。

(３)　とのにたっては、をするためのかつなをびがにえていくために、がいののにめることがである。えば、がののためににじている、としてなをのでする、をじてをめ、なをにしていくことがなにするとえられる。

なお、とのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストのびにつながるはである。

(４)　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、カード、、、の、りサインによる、による、がとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。また、からののみでなく、のによりのがなには、の、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

なお、のがなが、、・、をっていない、のがないであっても、がのをとしていることがであるときには、のにみ、にしてとわれるをするためにをきかける、なにめることがましい。

(５)　は、ののをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのののをとして、のにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、のがすることもあるため、に、とのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。

なお、のがしるをあらかじめするというから、のへのについてもしたのをうことび・をにするから、のにするをに、、マュアルのののをることはである。

２　なのなえ

(１)　なについては、なをせずになをするしてのをなうことなく、のごとに、のをし、びにじてかつにすることがである。

ア　はへのの（はの、はをなうかか）

イ　の（しくはなはしくはの）

ウ　はの

(２)　は、なにたるとしたは、ににそのをするものとし、をるようめることがましい。その、びのがいにのをしながら、をじてをり、のもめたをにすることがめられる。

３　の

(１)　は、１にすとおり、びにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。

なお、されているは、あくまでもであり、ずしもするとはらないことびされているであってもにするものがあることにするがある。

ア　にたりるへのの

(ｱ)　があるに、はのにキャスターげのをする、スロープをすする。

(ｲ)　のいにかれたパンフレットをってし、はパンフレットのを かりやすくえる。

(ｳ)　のまでののに、のにわせたでき、は、びのりについて、のをく。

(ｴ)　のにより、にのがあるに、のをにする。

(ｵ)　をじやすいからでののがあったにおいて、のがであるときに、にをし、のくにをさせてのスペースをける。

(ｶ)　によりをさえることがしいにし、がをさえ、はバインダーのをする。

(ｷ)　はがしたに、でのをくことがしいのあるにし、、きのボードをいて、かりやすくし、をる。

(ｸ)　イベントにおいて、はこだわりのあるをしてしまうのあるにしては、からの、コミュニケーションのについてきったで、ちかないのときは、にする。

(ｹ)　のあるからトイレのをするようめがあったに、めにじてトイレのをする。その、のがいるは、のにじてのがする。

イ　にたりるの、びへのの

(ｱ)　、みげ、、、、によるのコミュニケーションをいる。

(ｲ)　について、、でするに、のでページがなりることびではがないことにしてする。

(ｳ)　のあるにをするに、みげソフトにしたデータでする。

(ｴ)　がなにし、カードをしてをする。

(ｵ)　ではでうを、にメモをしてす。

(ｶ)　のに、をののでし、はかりやすいでする。また、のがあるには、びといったをう。

(ｷ)　がなにし、、、をいずににする。

(ｸ)　 からがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするのをにいたメモを、にじてにす。

(ｹ)　のにたり、をながらをくことがなにし、ゆっくり、なをがけるのをう。

(ｺ)　のにたっては、がのにったサポートをう、なでのをう。

ウ　ルール・のなの

(ｱ)　をつことがなにし、ののをたで、をれえる。

(ｲ)　ってにんでをっているに、ののをたで、のがるまではをする。

(ｳ)　スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。

(ｴ)　をにいへする。

(ｵ)　ののにおいて、のがまれる、、とされていないをのにする。

(ｶ)　との、のにいることによるにより、にがあるは、にの、のびのにじてをする。

(ｷ)　はをうにおいて、にるがられることをに、のをするのをめる。

(ｸ)　オンラインでのがなに、をうためのウェブサイトがにとってしづらいものとなっていることから、にしてのをめるがあったに、めにじてはメールでのをう。

(２)　のにするとえられるびしないとえられるとしては、のようなものがある。

なお、されているは、あくまでもであり、のにするかかについては、のごとにするがあることにするものとする。

ア　のにするとえられる

(ｱ)　をけるにがであるためのをめるがあったに、のみをめたがないことをに、なをうことなくにをる。

(ｲ)　イベントのにしてをめるがあったに、かあったらるというなでなのをせず、をる。

(ｳ)　のがなからのによりがえるようをめられたに、マニュアル、はによるのみでとされていることをとして、メール、リレーサービスのをせずにをる。

(ｴ)　 をとするから、のにたりのをめるがあったに、がのみのをルールとしていることをとして、であるの、のをすることなく、にのをる。

(ｵ)　 でのをしているイベントにおいて、のからスクリーン、がよくえるでのをするのがあったに、ののをせずに、いはできないというでをる。

イ　のにしないとえられる

(ｱ)　のとしてっていないのをめられたに、そのをる。（とされるでのにするものにられることの）

(ｲ)　イベントに、のあるからにし、イベントをきってブースをってほしいされたが、であり、できるがいないことから、そのをる。（な（・の）の）

第４　その

１　へにするためにするマニュアルのは、とするがされたものとなるよう、とのにめるものとする。

２　２び３において、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（4584）のなびのをまえ、できるりりむことがまれることをする。